

ご使用に際しては、この添付文書を必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

## 第2類医薬品

## ◆ウチダの漢方製剤◆

## ウチダの 黄連解毒湯 エキス散

オウレンゲドクトウ

ウチダの黄連解毒湯エキス散は、漢方処方にしたがい生薬を配合し抽出して得た水製エキスを服用しやすく細粒としたものです。

## ⚠ 使用上の注意

## ❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)  
次の人は服用しないこと  
生後3ヵ月未満の乳児。



## ■ 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
  - 医師の治療を受けている人。
  - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること  
まれに下記の重篤な症状が起こることがある。  
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等が見られ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

- 1ヵ月位(鼻出血、二日酔に服用する場合には5~6回)服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

## 効能・効果

体力中等度以上で、のぼせがみで顔色赤く、いらいらして落ち着かない傾向のあるものの次の諸症：

鼻出血、不眠症、神経症、胃炎、二日酔、血の道症<sup>注)</sup>、めまい、動悸、更年期障害、湿疹・皮膚炎、皮膚のかゆみ、口内炎

## 〈効能・効果に関連する注意〉

注)「<sup>ちのみちしよつ</sup>血の道症」とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。

## 用法・用量

次の1回量を1日3回食前又は食間に服用する。

年齢	1回量
大人(15歳以上)	2g
15歳未満7歳以上	大人の2/3の量
7歳未満4歳以上	大人の1/2の量
4歳未満2歳以上	大人の1/3の量
2歳未満	大人の1/4以下の量

## 〈用法・用量に関連する注意〉

- 添付のサジ1ばいが約1gです。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させること。

## 成分・分量

本品1日量(6g)中  
黄連解毒湯エキス……………2.00g

(オウレン……………1.5g)  
オウバク……………1.5g  
オウゴン……………3.0g  
サンシシ……………2.0g)

賦形剤として乳糖水和物・パレイショデンプン、吸湿防止剤としてメタケイ酸アルミン酸Mg、結合剤としてヒドロキシプロピルセルロースを含有する。

## 保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。
- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)

## ●お問い合わせ先

本品の内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または下記にお願い申し上げます。

株式会社ウチダ和漢薬 お客様相談センター

TEL 03-3806-4141

受付時間 9:00~17:30(土、日、祝日を除く)

本剤は生薬を原料としていますので、製品により多少色が異なることがあります。効能・効果にかわりはありません。



株式会社 ウチダ和漢薬

\* 新潟県上越市大潟区蜘蛛池 1755-3